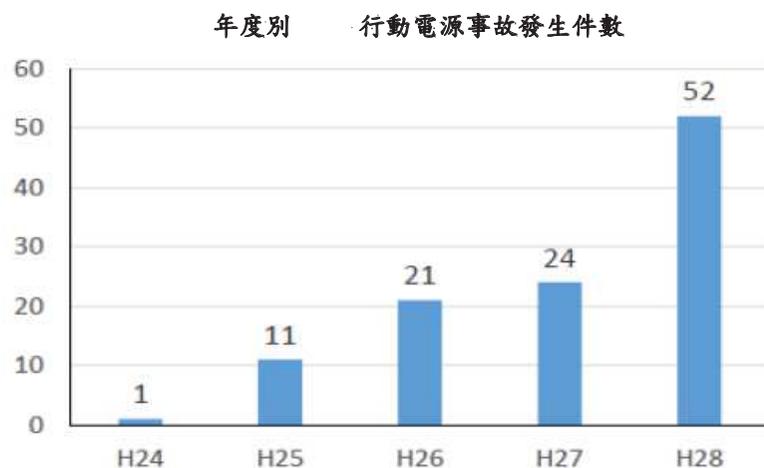


# 關於行動電源管制對象化

- 關於近幾年事故頻發的行動電源，通過2018年2月1日的通告修正，成為電氣用品安全法的管制對象。  
(寬限期：1年)
- 請注意2019年2月1日以後，禁止販售沒有PSE標誌之行動電源(包含庫存商品)。

## 1. 通告修正的背景

- ① 電氣用品安全法的管制對象品是以政令定義，運用上的細節，公開在通告，有關行動電源的管制對象·非管制對象，是修改前的通告中兩者皆可理解的內容。
- ② 然而，行動電源，近幾年事故遽增，用作電子機器的外部電源的鋰離子蓄電池本身可否拆開，此次，修正通告，明確化管制的對象。



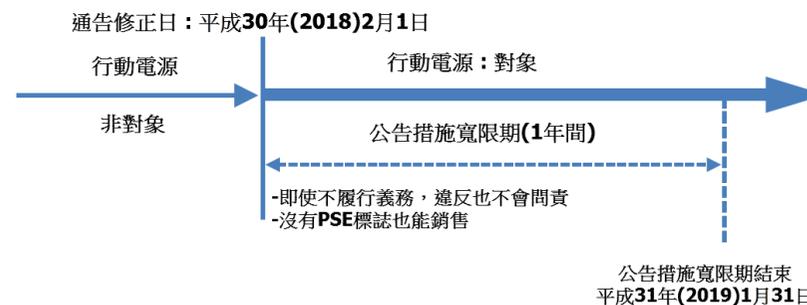
出處：平成28年度(2016)事故情報收集·調查報告書，平成29年(2017)10月，製品評價技術基盤機構(NITE)

## 2. 公告措施寬限期

根據此次的管制對象，有關行動電源，重新定義相關適合的技術基準、輸出電壓、外觀全檢等義務，履行以上義務後貼上PSE標誌之行動電源始能銷售。

由於以上緣故，根據經營者的準備狀況，經過1年的寬限期直到2019年1月31日為止的處置(不問是否違反技術基準，沒有PSE標誌也能銷售)。

### 修正·公告措施寬限期的時間表



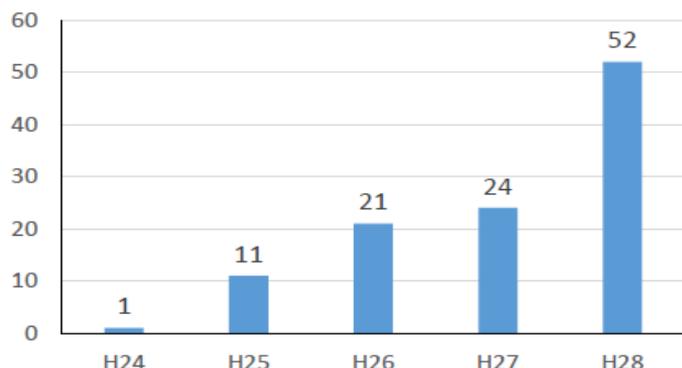
# モバイルバッテリーの規制対象化について

- 近年事故が多発しているモバイルバッテリーについて、平成30年2月1日付けの通達改正により、**電気用品安全法**の規制対象となりました。（経過措置期間：1年間）
- 平成31年2月1日以降は、**PSEマークの無いモバイルバッテリーは販売禁止**（流通在庫を含む）となりますのでご注意ください。

## 1. 通達改正の背景

- ① 電気用品安全法の規制対象品については政令で定義され、運用上の詳細は、通達において公開されているが、モバイルバッテリーの対象・非対象については、改正前の通達ではどちらとも読める内容。
- ② しかしながら、モバイルバッテリーについては、近年、事故が急増しており、また電子機器の外付け電源として用いられるリチウムイオン蓄電池そのものと解されることから、今回、通達を改正し、規制対象であることを明確化した。

年度別 モバイルバッテリー事故発生件数



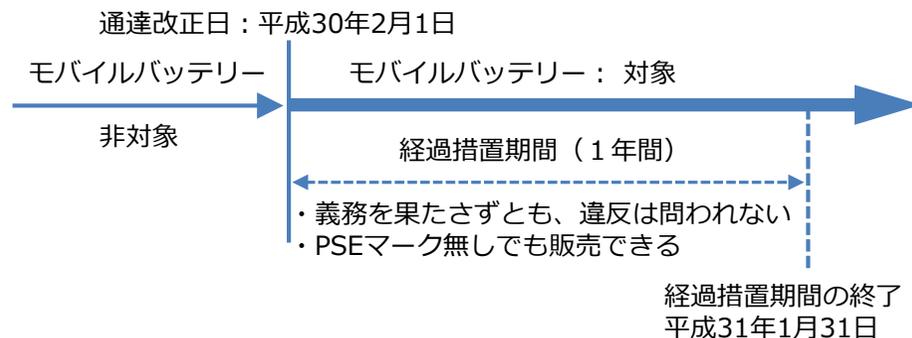
出典：平成28年度 事故情報収集・調査報告書、平成29年10月、製品評価技術基盤機構（NITE）

## 2. 経過措置期間

今回の規制対象化により、モバイルバッテリーは、技術基準適合や、出力電圧・外観について全数検査などが新たに義務付けられ、これらの義務を果たした証であるPSEマークの付されたモバイルバッテリーの販売が義務付けられる。

このため、事業者の準備状況を踏まえ、平成31年1月31日までの1年間を経過措置期間とし、この間は、これまでの扱い（技術基準違反に問われない、PSEマーク無しでも販売できる）によることもできることとする。

### 改正・経過措置期間のスケジュール



# モバイルバッテリーによる事故にご注意

- 経済産業省では、近年事故が急増しているモバイルバッテリーを平成30年2月に電気用品安全法の規制対象としました。
- 経過措置期間の終了する平成31年2月1日以降、PSEマーク表示の無いモバイルバッテリーの販売は禁止されますので、違反品にご注意ください。



◇ PSE ～PSEマークとは？～ ⊙ PSE

電気用品安全法の規制対象となる電気製品は、国が定めた一定の安全基準などを満たしている場合にPSEマークが表示できます。PSEマークが表示されている製品は店頭にて販売・陳列が可能になります。安全な製品を選ぶためにもPSEマークを確認しましょう。

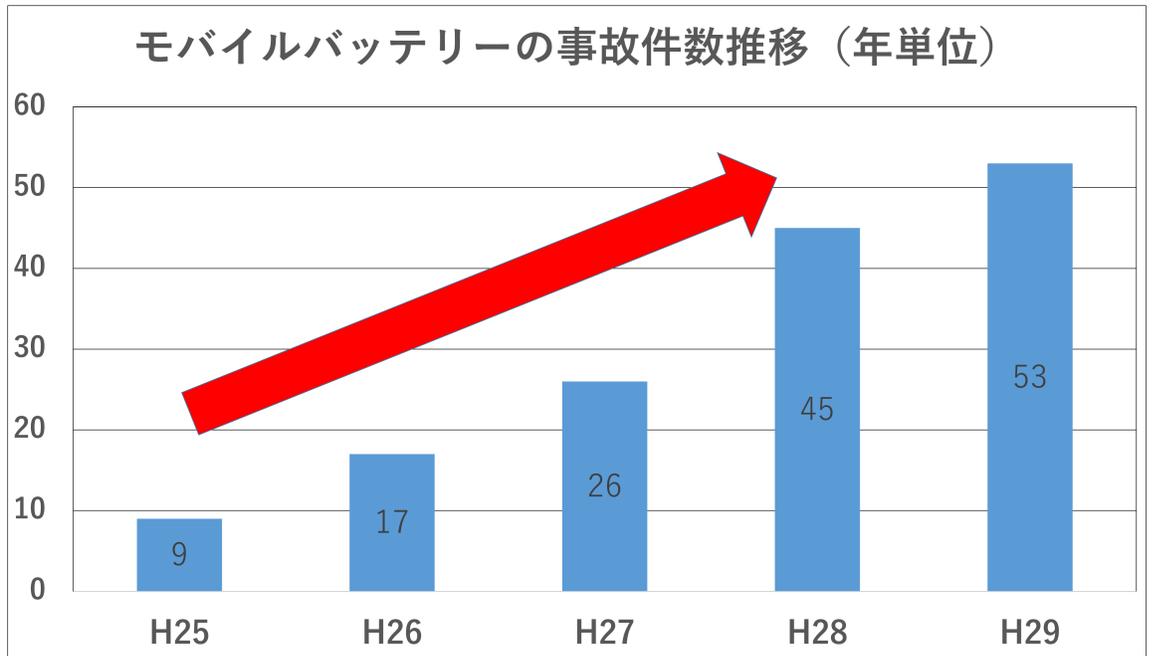
## モバイルバッテリーの事故件数の推移



出典：NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

実際に発火するモバイルバッテリー（再現）

右のグラフからわかるように、年々モバイルバッテリーによる事故は増加しています。H25年からH29年の総数は150件に及びうち約7割が火災を伴う事故が発生しています。



出典：NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）

## 事故事例と事故対策

モバイルバッテリーの事故事例としては以下のようなものがあげられます。

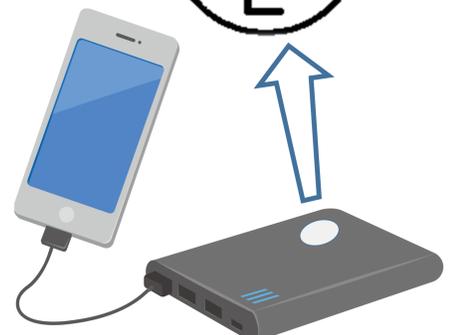
- ◆ズボンのポケットにモバイルバッテリーを入れた状態で転倒し、外部からの衝撃により内部ショートが生じ、異常発熱により火傷を負った。
- ◆リコール品と知らず充放電を繰り返すうちに内部ショートを起こし火災が発生した。
- ◆モバイルバッテリーを充電しながら就寝していたところ、内部ショートが生じ、周囲の可燃物に引火する火災が発生。

使用の際には以下の点にご注意ください。

- ☑ リコール品でないか確認
- ☑ 充電中の使用は避ける
- ☑ コネクターなど端子が曲がったものは使用しない
- ☑ 製品本体に強い衝撃を加えない
- ☑ PSEマークが表示されているか確認する
- ☑ 就寝中などの充電時は周囲に可燃物を置かない



CHECK !

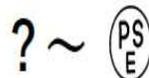


# 請注意行動電源所引發之事故

- 經濟產業省針對近年事故遽增的行動電源，在2018年2月時，列入**電氣用品安全法**的管制對象。
- 經過寬限期結束在2019年2月1日之後，禁止販售沒有PSE標誌之行動電源，請注意違反品。



~PSE 標誌是



成為電氣用品安全法的管制對象的電氣商品，必須符合國家制定的安全基準規定才可貼附標示PSE標誌。標示PSE標誌的商品可於店面銷售・陳列。為了選擇安全的產品也請確認PSE標誌吧。

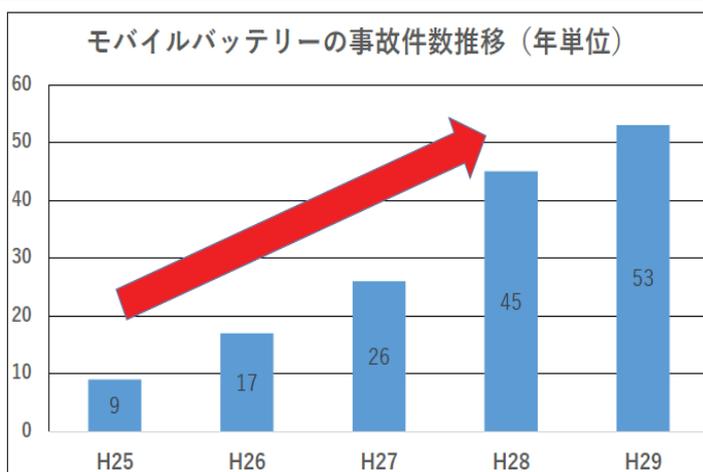
## 行動電源的事故件數的推移



出處：NITE(獨立行政法人製品評價技術基盤機構)

### 實際著火的行動電源(重現)

從右表清楚顯示，因行動電源的事故逐年增加。從H25年至H29年的總數達到150件並且約7成伴隨火災事故發生。



出處：NITE(獨立行政法人製品評價技術基盤機構)

## 事故事例與事故對策

行動電源之事故事例如下

- ◆將行動電源放入褲子的口袋的狀態下跌倒，來自外部衝擊導致內部短路，因而異常發熱導致燙傷。
- ◆回收品在不知情下重複充放電，內部短路而引起火災發生。
- ◆行動電源在邊睡邊充電，內部產生短路，引燃周圍的可燃物而導致火災發生。

### 使用時請注意以下的幾點。

- 確認非回收品
- 避免充電中使用
- 不使用彎曲的連接線等端子
- 不施加強力衝擊於商品本身
- 確認是否標示PSE標誌
- 在就寢時充電，周遭不可放置可燃物

